双方向通信対応型超高速プリンタバッファ

PL II シリーズ

取扱説明書

15304-01

【ご注意】

1）本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2）本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3）本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンターまでご連絡ください。
4）本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5）本製品は、「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当します。
したがって、国外に持ち出す場合には、必ず日本国政府の輸出許可申請など必要な手続きをお取りください。
6）本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
7）本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を責いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。（This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.）

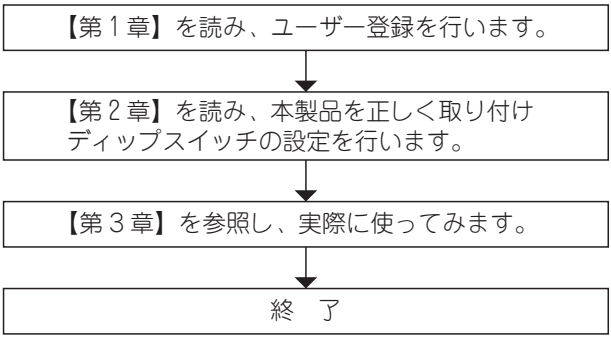
- I-O DATA, PSTOOLは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

このたびは、双方向通信対応型高速プリンタバッファ「PLⅡシリーズ」をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本書をご覧になるにあたって

❶ 本書の見方

以下のフローに沿って、必要な箇所をお読みください。



本書では、PLCⅡ、PLYⅡ、PLXⅡ、PLWⅡを総して、PLⅡ、またはPLⅡシリーズと呼んでいます。

❷ PLC 、 PLY について

本書は、PLCⅡ、PLYⅡ、PLXⅡ、PLWⅡの 4 機種共通マニュアルです。
ご購入の機種に応じて必要な箇所をお読みください。

PLC マークが付いている機能は、PLCⅡでは使用できません。

PLY マークが付いている機能は、PLYⅡでは使用できません。

はじめに……i
目次 ……ii

第1章 ご使用になる前に……1

1.1 特徴 ……1
1.2 箱を開けたら ……3
1.3 取り扱い及び使用上の注意 ……5
1.4 各部の名称と機能 ……6

第2章 セットアップ……14

2.1 接続から電源ONまで ……14
2.2 ディップスイッチ ……17
2.2.1 設定のしかた ……17
2.2.2 機能一覧と解説 ……18

第3章 使いかた……21

3.1 モードについて ……21
3.1.1 バッファモード ……21
3.1.2 ニブルモード ……21
3.2 パソコン切替 ……22
3.3 プリンタ切替 ……23
3.4 データのコピー ……25
3.5 データのクリア ……27
3.6 パワーコントローラについて ……28

第4章 PSC/Pコマンドについて……29

4.1 PSC/Pコマンド……29
4.1.1 コマンドのフォーマット ……29
4.1.2 コマンドの説明 ……30
4.1.3 階層コマンド ……32
4.1.4 コマンドの使いかた ……33

付録 1 困った時には ……34

付録 2 用語解説 ……36

付録 3 仕様 ……39

付3.1 ハードウェア仕様 ……39
付3.2 コネクタ信号表 ……40

サポートセンターへのお問い合わせ ……41
サポートソフトのバージョンアップ ……42
修理について ……43
クイックリファレンス ……45

第 1 章　ご使用になる前に

この章では、PLⅡシリーズをご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。

1.1 特徴

●PSC/Pコマンドに対応しています。
付属のPSC/Pコントロールソフトウェア「PSTOOL97」により、簡単にPSC/Pコマンドをパソコンから実行できます。PSC/Pコマンドは、階層コマンドをサポートしており、システムアップも簡単です。

●入出力ポートを搭載しています。
入出力ポートを 1 ポート搭載しており、システム構成に応じて、入力にも出力にも変更することができます。 PLC

●CPUに高速な32ビットRISCプロセッサを搭載し、総合スループットの向上を図っています。

●コピー機能を搭載しています。
同じデータを最高99部までコピーできます。

●1M、4M、8M、16Mバイトのバリエーションがあります。

●双方向通信に対応しています。
パソコンとプリンタの通信方式を判別し、単方向通信（バッファモード）のときはプリンタバッファとして、双方向通信（ニブルモード）のときはプリンタ切替器として動作します。双方向通信は、IEEE 1284規格ニブルモードに対応しています。
※双方向通信時は、バッファモードでは動作はしません。
※一部のプリンタには使用できないものがあります。

●Plug and Playに対応しています。
Windows95のPlug and Playに対応し、設定された接続先のプリンタをパソコンが自動認識できます。

●RPC（リモート電源制御）機能を搭載しています。
パワーコントローラ（関西電機㈱製、PWR-1）を接続すれば、パソコンからのデータを入力すると、自動的にプリンタの電源をONにし、データを出力することができます（OFFはパワーオフタイマによる）。

●ダイナミックアロケーション機能、FDI/FF機能、DMS方式、自動改ページ機能など、多彩な機能を搭載しています。

※PLCⅡは入出力が1：1のため、一部の機能に制限があります。

1.2 箱を開けたら

❶ 内容のご確認

内容物	個数	備考
本体	1台	PLCⅡ、PLYⅡ、PLXⅡ、またはPLWⅡ
取扱説明書	1冊	本書
出力用ケーブル	1本	
PSC/Pコントロールソフトウェアディスク「PSTOOL97」	1枚	3.5インチ2HD（1.44MB）
取扱説明書　『PSTOOL97』	1冊	
Verシール	1枚	
ハードウェア保証書	1枚	
ハードウェアシリアルNo.シール	1枚	
ユーザー登録カード	1枚	
『安全で快適にお使いいただくために』	1冊	

万が一、不足がございましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

お願い：箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

❷ ユーザー登録について

オンラインによる登録と、ハガキによる登録の2通りがあります。
いずれかの方法で登録を行ってください。

《オンラインによる登録》　（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　http://www.iodata.co.jp/support/）

I-O DATA ホームページのサポートコーナーに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の指示に従って必要事項を記入することにより、即座にユーザー登録が行えます。

オンライン・ユーザー登録を行えば、抽選で商品が当たる等のお楽しみ企画をご用意しております。
オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

《ハガキによる登録》

1）添付のVerシールを、ユーザー登録カード、サポートソフトウェアディスクの「Verシール」と書かれている欄、同封の「PSTOOL97」の巻末に貼ってください。
2）ユーザー登録カードに添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼り、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。

注 意

1）弊社では、サポートセンターでの質問受け付けやソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っていますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに必ず登録してください。
2）ユーザー登録の際、必要事項のご記入もれ（ユーザー登録カードの場合は、必要なシールの貼り忘れなど）があった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。

1.3 取り扱い及び使用上の注意

❶ 本製品の取り付けや取り外しは、必ずパソコン本体及び周辺機器の電源を切り、コンセントを外してから行ってください。故障の原因になることがあります。

❷ 本製品は精密機器です。落したり衝撃を加えないよう、丁寧に取り扱ってください。

❸ 本製品に対し、以下のことを行わないでください。火災・感電　動作不良の原因になります。
・分解や改造などをしないでください。
・濡れた手などで本製品を取り扱わないでください。

❹ 保証について

保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有料修理となります。
　また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
・弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
　詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

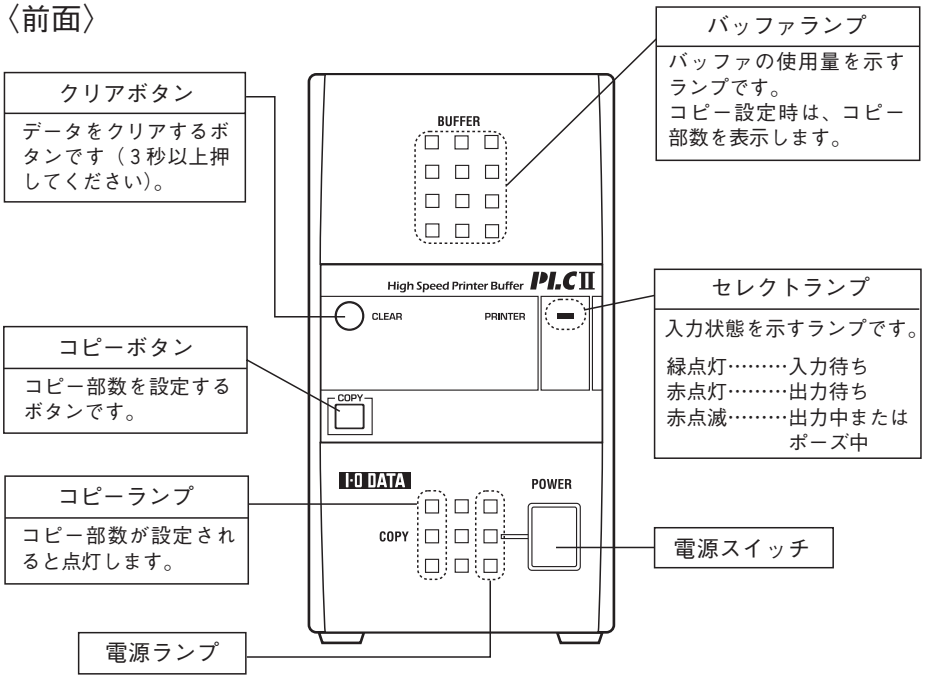
保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。
・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

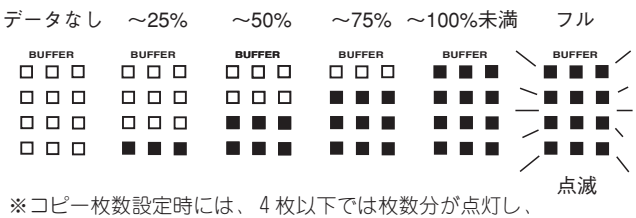
1.4 各部の名称と機能

PLCⅡ

〈前面〉

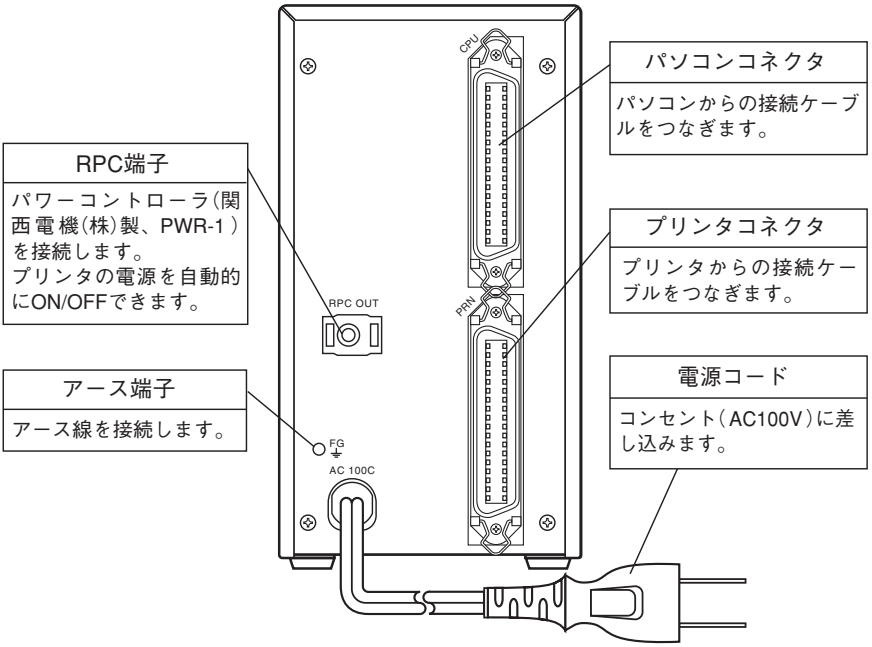


◆バッファの使用量は下記のように表示されます。

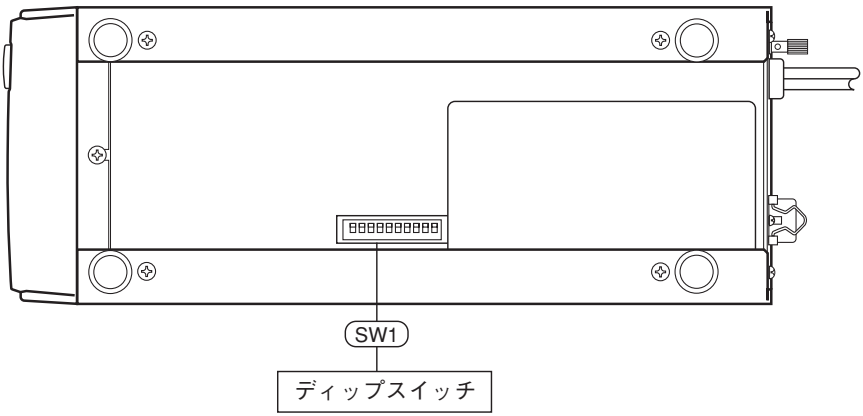


※コピー枚数設定時には、4枚以下では枚数分が点灯し、5枚以上では点滅します。　→P25「データのコピー」

〈背面〉

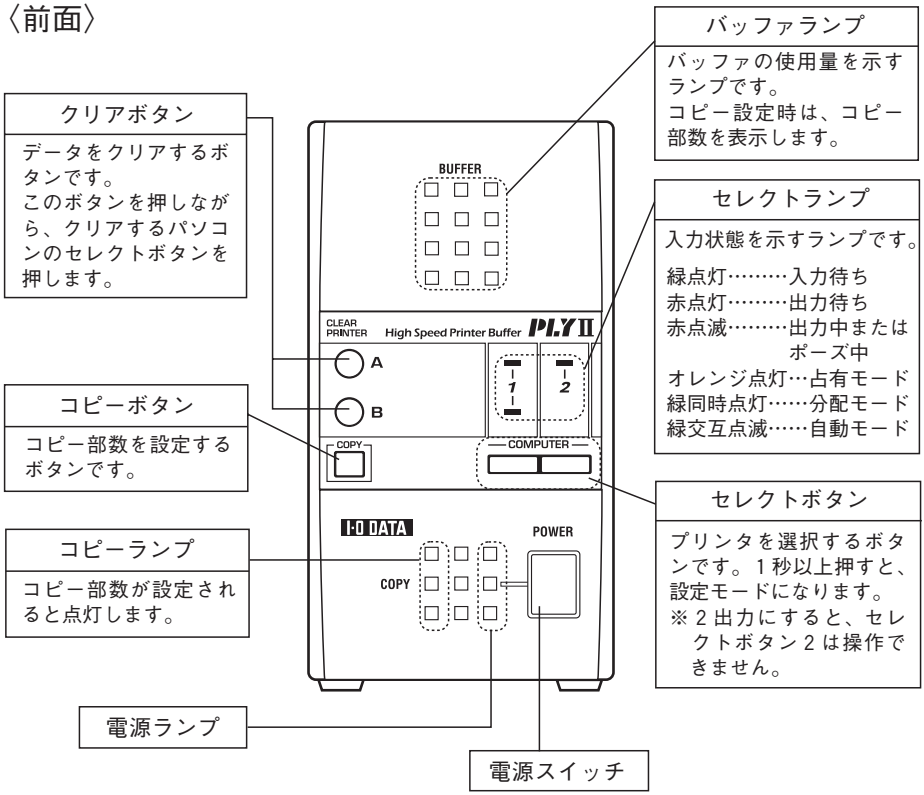

RPC端子
パワーコントローラ(関西電機(株)製、PWR-1)を接続します。
プリンタの電源を自動的にON/OFFできます。
アース端子
アース線を接続します。
パソコンコネクタ
パソコンからの接続ケーブルをつなぎます。
プリンタコネクタ
プリンタからの接続ケーブルをつなぎます。
電源コード
コンセント(AC100V)に差し込みます。
CPU
PRN
RPC OUT
FG
AC 100C

〈底面〉

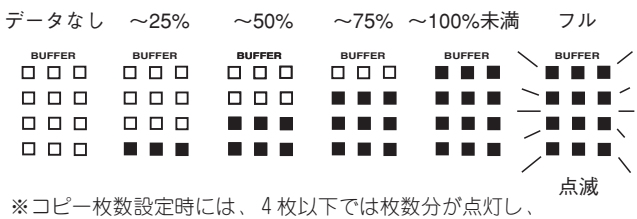

SW1
ディップスイッチ

PLYⅡ

〈前面〉

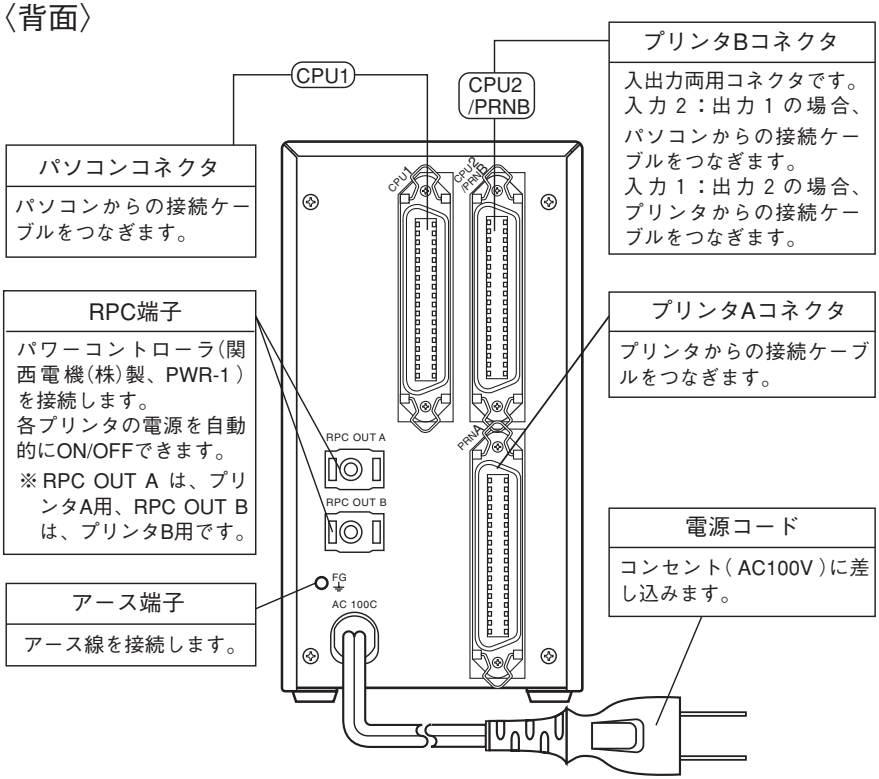


◆バッファの使用量は下記のように表示されます。

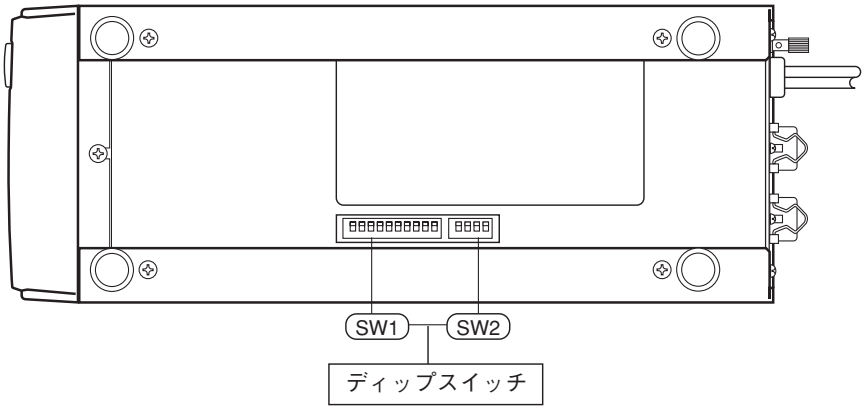


※コピー枚数設定時には、4枚以下では枚数分が点灯し、5枚以上では点滅します。　→P25「データのコピー」

〈背面〉

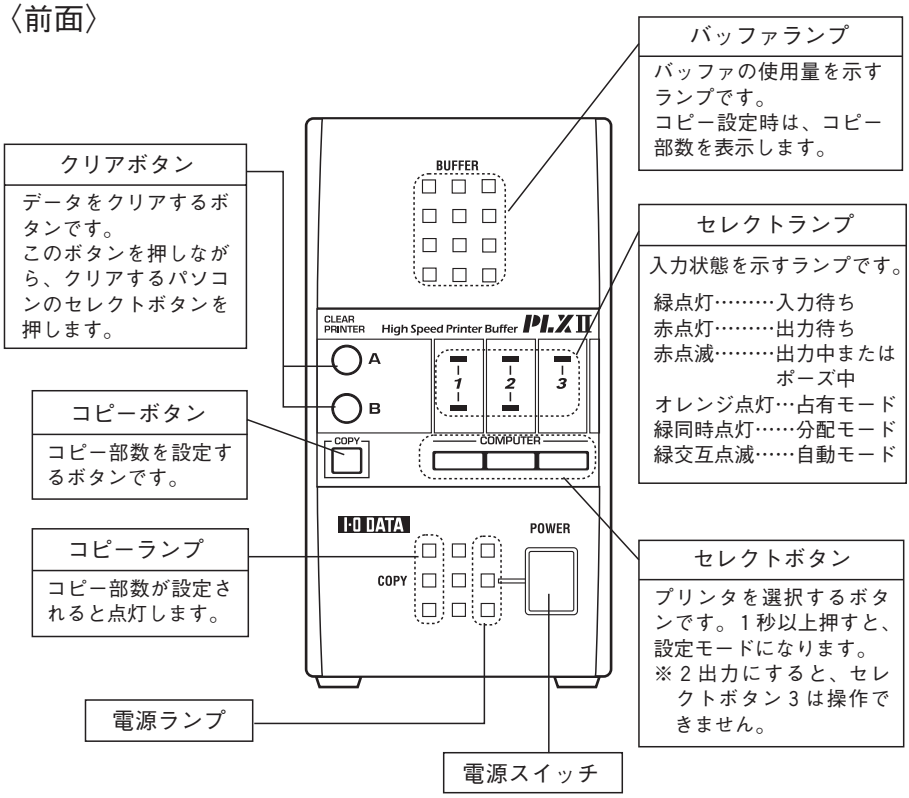

CPU1
CPU2
/PRNB
パソコンコネクタ
パソコンからの接続ケーブルをつなぎます。
プリンタBコネクタ
入出力両用コネクタです。
入力2：出力1の場合、
パソコンからの接続ケーブルをつなぎます。
入力1：出力2の場合、
プリンタからの接続ケーブルをつなぎます。
RPC端子
パワーコントローラ(関西電機(株)製、PWR-1)を接続します。
各プリンタの電源を自動的にON/OFFできます。
※RPC OUT A は、プリンタA用、RPC OUT B は、プリンタB用です。
プリンタAコネクタ
プリンタからの接続ケーブルをつなぎます。
RPC OUT A
RPC OUT B
PRNA
FG
AC 100C
アース端子
アース線を接続します。
電源コード
コンセント(AC100V)に差し込みます。

〈底面〉

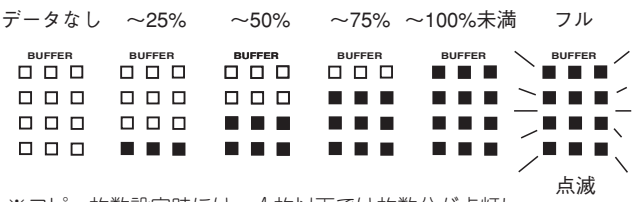

SW1
SW2
ディップスイッチ

PLXⅡ

〈前面〉

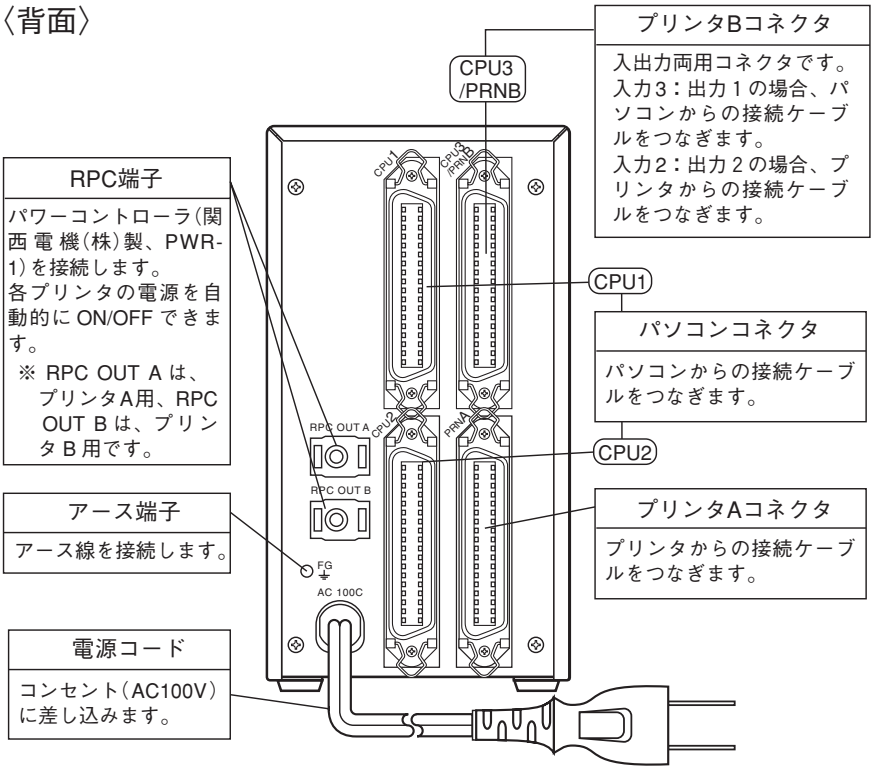


◆バッファの使用量は下記のように表示されます。



※コピー枚数設定時には、4枚以下では枚数分が点灯し、5枚以上では点滅します。　→P25「データのコピー」

〈背面〉



プリンタBコネクタ

入出力両用コネクタです。
入力3：出力1の場合、パソコンからの接続ケーブルをつなぎます。
入力2：出力2の場合、プリンタからの接続ケーブルをつなぎます。

RPC端子

パワーコントローラ(関西電機(株)製、PWR-1)を接続します。
各プリンタの電源を自動的にON/OFFできます。
※ RPC OUT Aは、プリンタA用、RPC OUT Bは、プリンタB用です。

パソコンコネクタ

パソコンからの接続ケーブルをつなぎます。

アース端子

アース線を接続します。

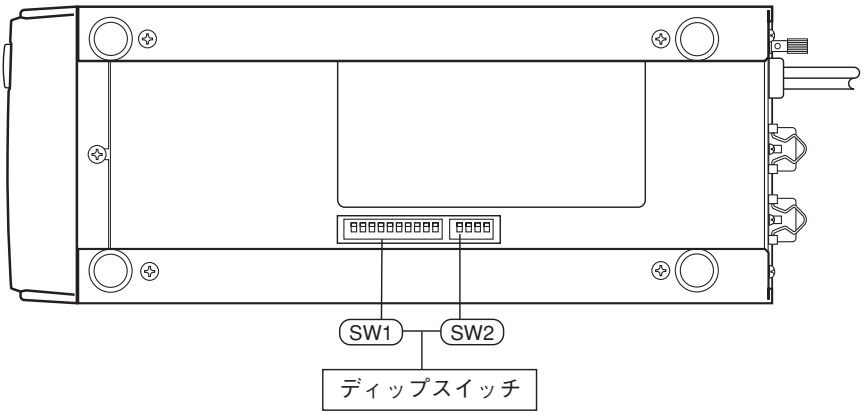
プリンタAコネクタ

プリンタからの接続ケーブルをつなぎます。

電源コード

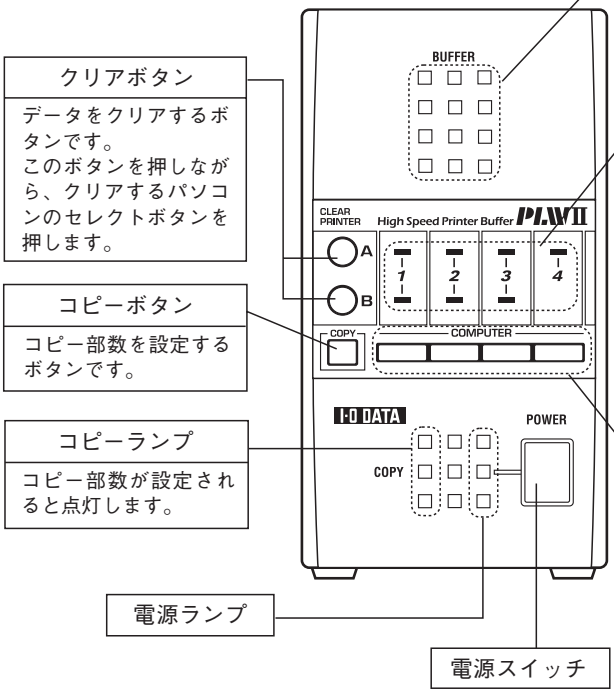
コンセント(AC100V)に差し込みます。

〈底面〉



PLWⅡ

〈前面〉



バッファランプ

バッファの使用量を示すランプです。
コピー設定時は、コピー部数を表示します。

クリアボタン

データをクリアするボタンです。
このボタンを押しながら、クリアするパソコンのセレクトボタンを押します。

セレクトランプ

入力状態を示すランプです。

緑点灯……入力待ち
赤点灯……出力待ち
赤点滅……出力中またはポーズ中
オレンジ点灯…占有モード
緑同時点灯……分配モード
緑交互点滅……自動モード

コピーボタン

コピー部数を設定するボタンです。

コピーランプ

コピー部数が設定されると点灯します。

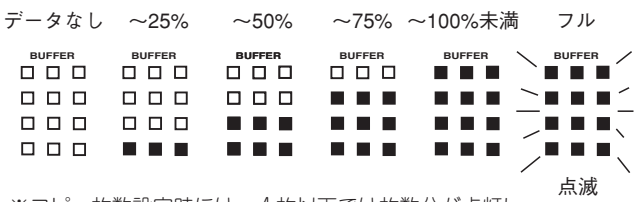
セレクトボタン

プリンタを選択するボタンです。1秒以上押すと、設定モードになります。
※2出力にすると、セレクトボタン4は操作できません。

電源ランプ

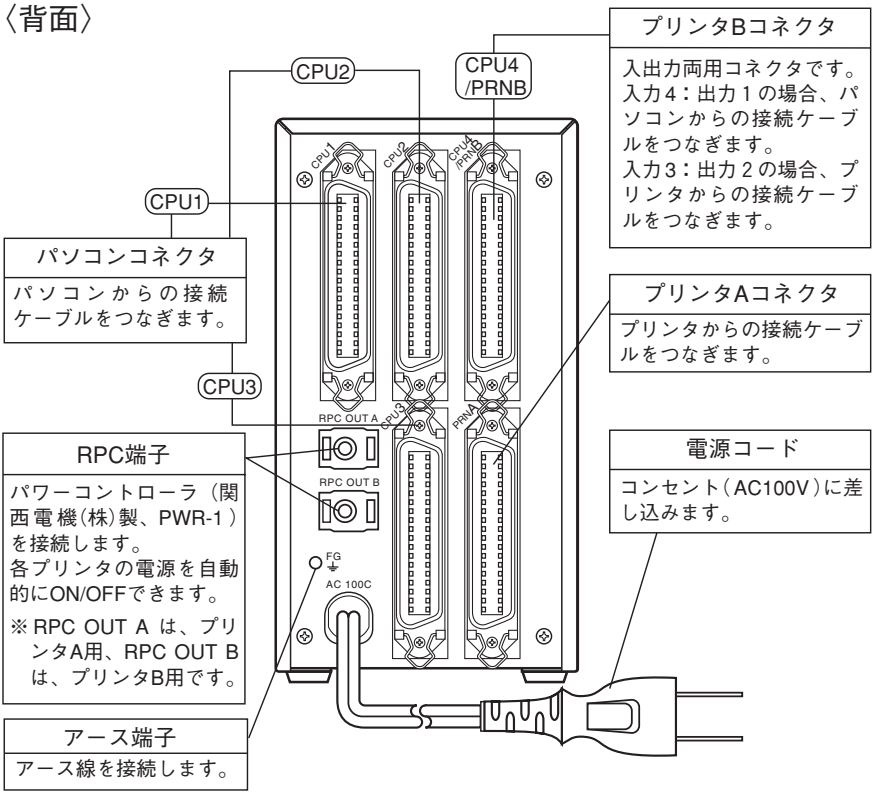
電源スイッチ

◆バッファの使用量は下記のように表示されます。



※コピー枚数設定時には、4枚以下では枚数分が点灯し、5枚以上では点滅します。　→P25「データのコピー」

〈背面〉



プリンタBコネクタ

入出力両用コネクタです。
入力4：出力1の場合、パソコンからの接続ケーブルをつなぎます。
入力3：出力2の場合、プリンタからの接続ケーブルをつなぎます。

パソコンコネクタ

パソコンからの接続ケーブルをつなぎます。

プリンタAコネクタ

プリンタからの接続ケーブルをつなぎます。

RPC端子

パワーコントローラ（関西電機(株)製、PWR-1）を接続します。
各プリンタの電源を自動的にON/OFFできます。

※RPC OUT A は、プリンタA用、RPC OUT B は、プリンタB用です。

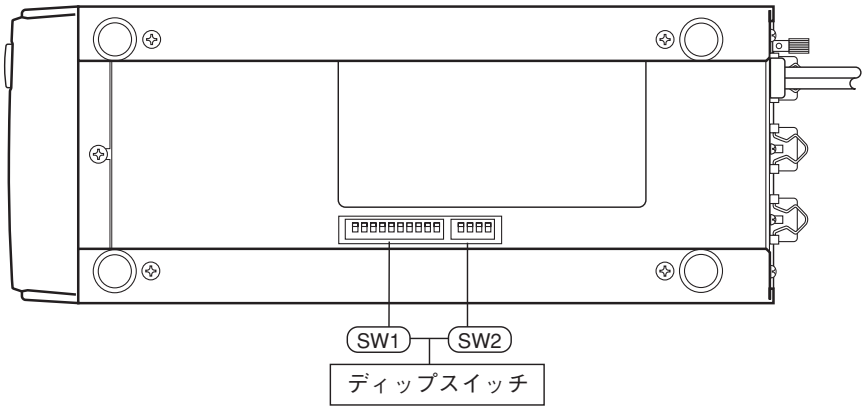
電源コード

コンセント（AC100V）に差し込みます。

アース端子

アース線を接続します。

〈底面〉



ディップスイッチ

第 2 章　セットアップ

この章では、PLⅡシリーズをセットアップする方法を説明します。

2.1 接続から電源 ON まで

1 本製品に接続する機器の電源をすべて切ります。

2 接続するパソコンとプリンタの数に応じて、ディップスイッチSW2-4でプリンタBコネクタの入出力を設定します。 PLC →P17「ディップスイッチ」
※必要に応じて、上記以外のディップスイッチの設定もしてください。

3 パソコンコネクタに接続ケーブル（各パソコンメーカー指定の純正ケーブル、または弊社別売ケーブル）でパソコンを接続し、プリンタコネクタに付属のプリンタ接続用ケーブル（または弊社別売ケーブル）でプリンタを接続します。

特に注意

接続ケーブルは、止め金をかけてしっかりと固定してください。

4 アース端子にアース線を接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。

特に注意

アース線は、パソコンやプリンタのアース線とともに、確実に接地してください。

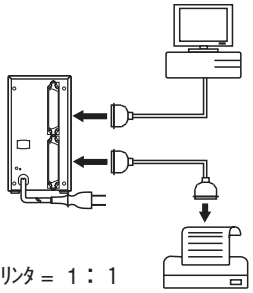
参照

関西電機㈱製のパワーコントローラ（PWR-1）を使用する場合は、パワーコントローラのマニュアルをご覧ください。

5 パソコン→本製品→プリンタの順に電源を入れます。
Plug and Playでプリンタを認識する場合は、プリンタ→本製品→パソコンの順に電源を入れます。

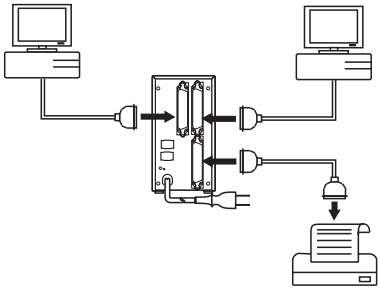
●接続例

PLCⅡ

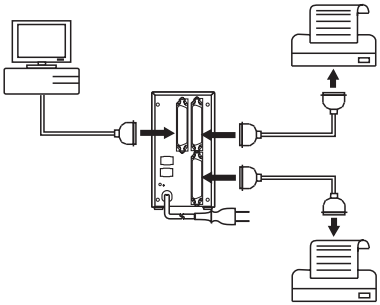


ﾊﾟｿｺﾝ：ﾌﾟﾘﾝﾀ＝ 1 ： 1

PLYⅡ

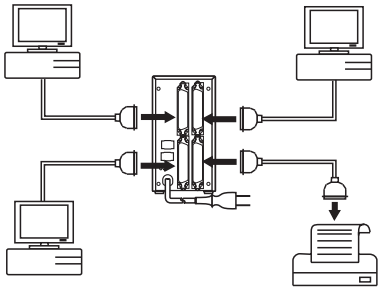


ﾊﾟｿｺﾝ：ﾌﾟﾘﾝﾀ＝ 2 ： 1 （出荷時設定）

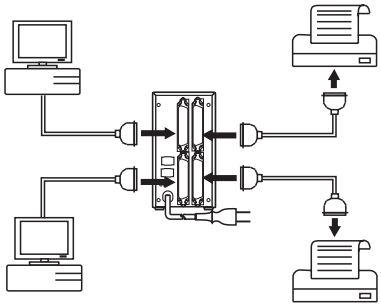


ﾊﾟｿｺﾝ：ﾌﾟﾘﾝﾀ＝ 1 ： 2

PLXⅡ

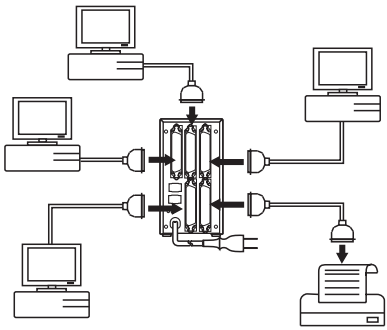


ﾊﾟｿｺﾝ：ﾌﾟﾘﾝﾀ = 3 ： 1 （出荷時設定）

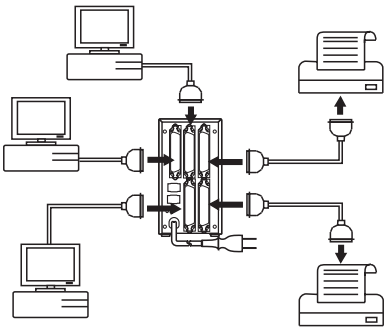


ﾊﾟｿｺﾝ：ﾌﾟﾘﾝﾀ = 2 ： 2

PLWⅡ



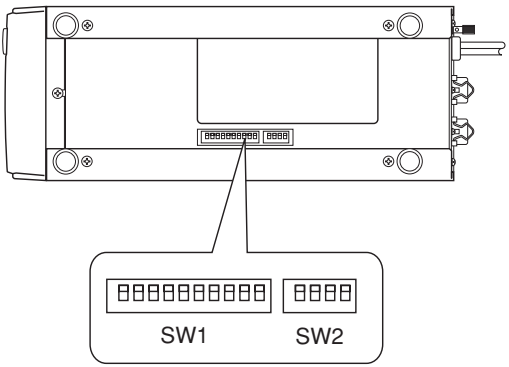
ﾊﾟｿｺﾝ：ﾌﾟﾘﾝﾀ = 4 ： 1 （出荷時設定）



ﾊﾟｿｺﾝ：ﾌﾟﾘﾝﾀ = 3 ： 2

2.2 ディップスイッチ

ディップスイッチは、機器の構成などに応じて、本製品を正しく動作させるために重要なスイッチです。ディップスイッチの設定が間違っていると、切り替えがうまくいかなかったり、データが混在するなどのトラブルの原因になるので、注意が必要です。



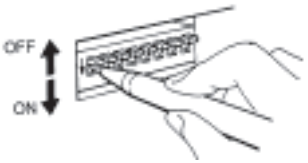
※PLCⅡにはSW-2はありません。

2.2.1　設定のしかた

特に注意

設定は、必ず、本製品の電源を切ってから行ってください。
電源が入ったまま設定をすると、誤動作の可能性があります。

ディップスイッチは、本体底面にあります。
上側にするとOFFに、下側にするとONになります。
先の細いものを使ってセットするとよいでしょう。
強い力を加えすぎると壊れるので､注意してください。



2.2.2　機能一覧と解説

●SW1

□：出荷時設定

ｽｲｯﾁ番号	機　能	ON	OFF
1	占有タイマ	※下表参照	
2			
3	コマンドの使用	有効	無効
4	コマンドの区切り	ｺﾏﾝﾄﾞ+CR, LF	CR, LFなし
5	デバイスコントロール	有効	無効
6	出力$\overline{\text{ACK}}$監視	$\overline{\text{ACK}}$のみ	$\overline{\text{ACK}}$/BUSY
7	DMS	有効	無効
8	自動改ページ	有効	無効
9	プリンタAのバッファ	無効	有効
10	プリンタBのバッファ PLC	無効	有効

※占有タイマ（SW1-1, 2）

1	ON	OFF	ON	OFF
2	ON	ON	OFF	OFF
設定時間（秒）	60秒	30秒	15秒	5秒

・占有タイマ（SW1-1, 2）

印字データの混在を防ぐために、占有時間を設定するタイマです。
パソコンとプリンタが接続されているとき、パソコンがデータを出力し終えても、設定した時間そのプリンタを占有します。
他のパソコンからのデータが混在するときは、占有時間を長く設定する必要があります。

・コマンドの使用（SW1-3）

コマンドを使用する場合はON、しない場合はOFFにします。出力したいデータの中にコマンドと同じ文字列がある場合は、OFFにします。

・コマンドの区切り（SW1-4）

コマンドを使用するとき、コマンド文字列+CR, LFで切り替えたい場合はON、コマンド文字列のみで切り替えたい場合はOFFにします。

・デバイスコントロール（SW1-5）

デバイスコントロールを有効にする場合は、ONにします。無効にする場合やデバイスコントロールができない機器を使用する場合は、OFFにします。

・出力ACK監視（SW1-6）

ACKだけを使っているプリンタを使用する場合は、ON（ACKのみ）にします。
通常は、OFF（ACK/BUSY）のままでかまいません。

・DMS（SW1-7）

ONにすると、プリンタ側のステータス（PE, SEL, ERR）を即時にパソコン側に伝え、（AF, SEL IN）を即時にプリンタ側に伝えます。これにより、動作に支障をきたす場合はOFFにします。OFFにすると、各信号は通常の状態に固定されます。

・自動改ページ（SW1-8）

ONにすると、切り替える際にデータに先だって改ページコードを出力します。ワープロのようにアプリケーションソフト側で改ページする場合は、OFFにします。

・プリンタAのバッファ（SW1-9）

プリンタAの通信方式の設定です。
ONにするとニブルモードで動作し、OFFにするとバッファモードまたはニブルモードを自動的に判別します。　→P21「モードについて」

・プリンタBのバッファ（SW1-10）　PLC

プリンタBを出力にしたときの、プリンタBの通信方式の設定です。
ONにするとニブルモードで動作し、OFFにするとバッファモードまたはニブルモードを自動的に判別します。　→P21「モードについて」

●SW2 PLC

【 PLYⅡ】　　□：出荷時設定

ｽｲｯﾁ番号	機　能	ON	OFF
1	出力先設定	プリンタB	プリンタA
2	未使用（常にOFF 状態で使用してください）		
3			
4	プリンタB入出力切り替え	出力	入力

【 PLXⅡ】

ｽｲｯﾁ番号	機　能		ON	OFF
1	未使用（常にOFF 状態で使用してください）			
2	出力先設定	パソコン1	プリンタB	プリンタA
3		パソコン2		
4	プリンタB入出力切り替え		出力	入力

【 PLWⅡ】

ｽｲｯﾁ番号	機　能		ON	OFF
1	出力先設定	パソコン1	プリンタB	プリンタA
2		パソコン 2		
3		パソコン 3		
4	プリンタB入出力切り替え		出力	入力

・出力先設定（SW2-1, 2, 3）

電源投入時の出力先を設定します。プリンタBを出力にした場合に有効です。
※機種により設定が異なります。

・プリンタB入出力切り替え（SW2-4）

プリンタBは、入出力どちらでも変更できます。プリンタBのコネクタにパソコンを接続する（入力ポートとして使用する）場合は、OFF（入力）にします。
このコネクタにプリンタを接続する（出力ポートとして使用する）場合は、ON（出力）にします。
※この設定は、必ず、機器を接続する前に行ってください。

第 3 章 使いかた

この章では、PLⅡシリーズの使いかたを説明します。

3.1 モードについて

パソコンとプリンタの通信方式を自動的に判別し、単方向通信のときはプリンタバッファとして、双方向通信のときはプリンタ切替器として動作します。

3.1.1 バッファモード

単方向通信のモードです。
このモードでは、PLⅡはプリンタバッファとして動作します。
パソコンからのデータをいったんバッファメモリにためて、選択しているプリンタに順次出力します。

3.1.2 ニブルモード

双方向通信のモードです。
このモードでは、PLⅡはプリンタ切替器として動作します。
パソコンとプリンタ間で双方向（IEEE1284規格ニブルモード）に通信を行います。
出力先のポートが使用中のときは印刷できず、パソコンにエラーが表示されることがあります。
ニブルモードで通信中に、ほかのポートからバッファモードでデータを入力をした場合、データはバッファメモリに順次取り込まれます。

参 考

これらのモードは、各ポートごとに自動的に設定されます。
実際の通信方式は、接続するパソコンやプリンタ、またプリンタドライバや設定値などによって異なります。

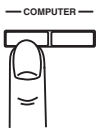
3.2 パソコン切替

注 意

PLCⅡでは使用できません。

一般的な切替方法です。
本体前面のセレクトボタンで、出力したいプリンタを選択し、データを送ります。

1 セレクトボタンを押して、プリンタを選びます。



選択されたプリンタ側のセレクトランプが点灯します。

注 意

バッファモードの場合は、データ出力後でも出力待機中に限り、プリンタを切り替えることができます。

2 パソコンからデータを送ります。
出力が始まると、セレクトランプが点灯から点滅に変わります。

注 意

1）データを送ったのにすぐプリントアウトしないとき（セレクトランプが赤色に点灯）は、順番待ち、あるいは、紙切れやオフラインなどのプリンタエラーの可能性があります。
2）同じプリンタに向けて、複数のパソコンからデータを送った場合、FDI 方式により、先に送られてきた順に自動的に切り替え、プリンタ出力します。

3.3 プリンタ切替

注 意

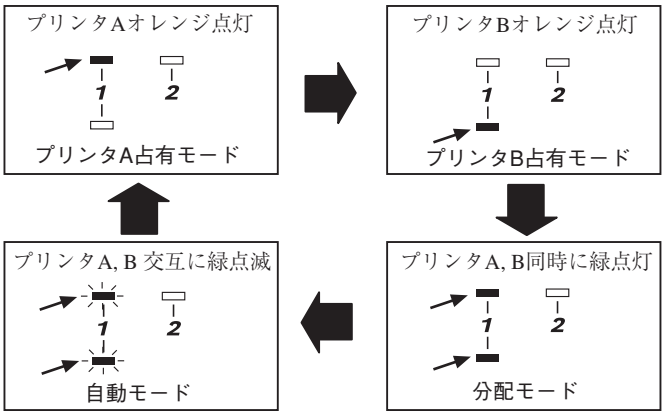
PLCⅡでは使用できません。

プリンタの出力方法を設定する機能です。

1 モードを設定したいパソコンのセレクトボタンを1秒以上押します。

ピーッと鳴り、現在設定されているモードがセレクトランプで確認できます。
ほかのパソコンのセレクトランプは消えます。

2 さらにセレクトボタンを押すと、押す度にピッと鳴り、セレクトランプが下記のように点灯します。



〈占有モード〉

パソコンがプリンタを占有し、データの出力が終了しても、ほかのパソコンには切り替わりません。集計処理などで出力に時間がかかるときなどに使用します。

〈分配モード〉

データをプリンタA、B両方に同時に出力します。印字結果の控えを取っておきたいときなどに便利です。

〈自動モード〉

パソコンから送られたデータを、プリンタAまたはBが出力可能なプリンタへ出力します。同じ機種のプリンタを接続し、どちらに出力してもよい場合などに便利です。

3　設定したいモードが表示されたら、操作をやめます。
3 秒後に設定が終了します。 3 秒以内でも、設定しているセレクトボタン以外のボタンを押して、設定を終了することもできます。

注 意

1）ここで設定したモードは、電源を切ると解除されます。
2）モードを解除するときは、セレクトボタンを押してください。パソコン切替に変わります。
3）占有モードに設定した場合、パソコンからのデータを出力し終えても、ずっとそのプリンタを占有したままです。ほかのパソコンからそのプリンタにデータを送っても、バッファ内にデータがたまるだけで、出力しません。占有モードを解除すると出力します。
4）分配モード及び.3自動モードは、プリンタBを出力ポートに設定しており、なおかつ、プリンタAとBのバッファの設定（SW-1-9, 10）が、両方ともON、または両方ともOFFの場合に有効です。

3-4 データのコピー

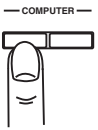
同じデータを最高99部までコピーできます。同じデータを大量にコピーするとき、データを何度も送る手間が省けます。この機能は、バッファモードの場合のみ有効です。

1 出力したいプリンタを選択します。　→P23「プリンタ切替」

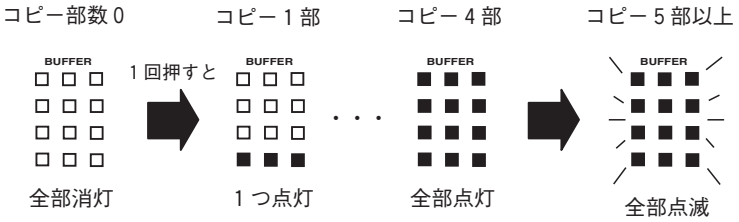
2 コピーボタンを1秒以上押します。

コピーランプが点滅します。

3 コピーするパソコンのセレクトボタンを押します。



4 コピーする部数だけ、コピーボタンを押します。
コピー部数がバッファランプに表示されます。



3秒後にコピーランプが点灯し、設定が終了します。

5 パソコンからデータを送ります。
オリジナルの出力が終了すると、コピー出力を始めます。

注 意

1）コピーするデータは本製品のバッファ容量内にしてください。容量を超えると、自動的にコピーモードが解除されます。
2）データを入力中のポートは、コピー設定ができません。
3）自動改ページ機能が有効になっていると、各部の最初に改ページコードが挿入されます。

コピーの取り消しについて

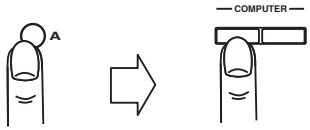
コピーの取り消しは、下記の方法で行ってください。

・データをクリアする　→P27「データのクリア」

3.5 データのクリア

パソコンからプリンタへ送られたデータをクリアします。
この機能は、バッファモードの場合のみ有効です。

1 クリアしたいデータのあるプリンタのクリアボタンを押しながら、そのデータを送ったパソコンのセレクトボタンを押します。（PLCⅡの場合、クリアボタンを 3 秒以上押します。）



押しながら

そのパソコンが送ったデータがすべてクリアされます。

特に注意

クリアボタンだけを 3 秒以上押すと、そのプリンタへ向けて送ったデータがすべてクリアされます。

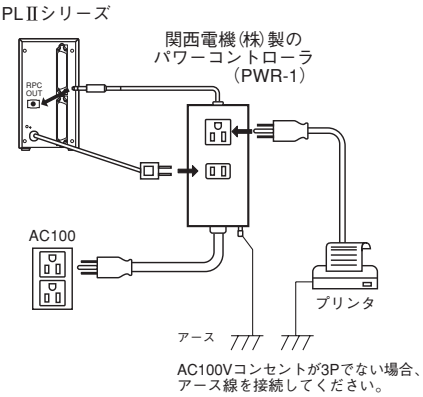
注 意

1）バッファモードの場合、バッファデータをクリアします。
2）ニブルモードの場合、通信モードをクリアし、バッファモードにします。

2 ピッと鳴ったら、ボタンから指を離します。
クリアが終了します。

3.6 パワーコントローラについて

本製品はRPC（リモート電源制御）機能を搭載しているので、パワーコントローラ（関西電機㈱製、PWR-1）を接続すると、プリンタの電源をコントロールできます。
パワーコントローラを接続した場合、本製品の電源スイッチをONにすると、RPC機能が有効になります。
RPC機能有効時に、パソコンからのデータ入力があると、自動的にパワーコントロールがONになり、プリンタの電源をONにします。
30分間パソコンからのデータ入力がなければ、パワーオフタイマにより、パワーコントロールが自動的にOFFになり、プリンタの電源をOFFにします。



通常は、パソコンからデータを送ることにより、自動的にプリンタの電源をONにしますが、データを送る前にプリンタの設定を変更したい場合など、データを送らなくてもプリンタの電源をONにすることができます。パソコンからデータを送らずに、プリンタの電源をONにするには、次の 2 通りの方法があります。

・PLⅡシリーズのクリアボタンを 1 秒以上押す
・PLⅡシリーズの電源を入れ直す

参照

1）接続のしかたなど、詳しいことはパワーコントローラ（PWR-1）のマニュアルをご覧ください。
2）パワーコントローラについては、関西電機㈱テクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

広島：TEL 082-877-7912／FAX 082-876-2852
●電話受付時間は、月～金曜日（祝日は除く）の9:30～12:00, 13:00～17:00です。
《ホームページURL：http://www.kansai-elec.co.jp/》

第 4 章 PSC/Pコマンドについて

4.1 PSC/P コマンド

コマンド（文字列）により、切り替えやバッファ内のデータのクリアなどがアプリケーションソフトウェアから行えます。このコマンドのことをPSC/P（Peripheral Standard Control/Protocol）コマンドと呼びます。
コマンドを使用するときには、ディップスイッチSW1-3をONにしておく必要があります。付属のPSC/Pコントロールソフトウェア「PSTOOL97」を使うと、簡単に操作できます。詳細は、「PSTOOL97」のマニュアルをご覧ください。

4.1.1 コマンドのフォーマット

｜{レベル} コマンド｜CR LF

｜（¦）	(7C)H
{	(7B)H
}	(7D)H
CR	キャリッジリターン(0D)H
LF	ラインフィード(0A)H

注 意

1）使用文字列はASCII大文字のみです。
2）CR, LFはディップスイッチSW1-4で有無を設定できます。
3）LFは省略可能です。
4）コマンドの文字間が 2 秒以上空くと、そのコマンドは無効になります。
5）バッファがフルのときは、コマンドを受けることができません。

4.1.2　コマンドの説明

コマンドを使用できるのは入力待ちのときのみで、プリンタAとBのバッファの設定がONの場合、切替コマンドの |PRNTRA| と |PRNTRB| のみ有効です。

注 意

以下の例では、CR, LFを省略しています。

● 切り替え

PLC

|PRNTR0|　空いているプリンタを選択する（自動モード）
|PRNTRA|　プリンタAを選択する
|PRNTRB|　プリンタBを選択する
|PRNTR＊|　プリンタA、B両方を選択する（分配モード）
|PRNTAA|　プリンタAをコマンドを送ったポートの占有モードに設定する
|PRNTAB|　プリンタBをコマンドを送ったポートの占有モードに設定する

● バッファのクリア

|CLEAR0|　自ポートのバッファ内のメモリをクリアする
※占有タイマによって終了されたバッファメモリ内のデータはクリアしません。
|CLEARA|　プリンタAのバッファをすべてクリアし、プリンタAもリセットする PLC
|CLEARB|　プリンタBのバッファをすべてクリアし、プリンタBもリセットする PLC
|CLEAR1|　パソコン1のバッファをすべてクリアする
|CLEAR2|　パソコン2のバッファをすべてクリアする PLC
|CLEAR3|　パソコン3のバッファをすべてクリアする PLC
|CLEAR4|　パソコン4のバッファをすべてクリアする PLC
|CLEAR＊|　全ポートのバッファをクリアし、プリンタA、B共リセットする PLC

●　ポートの開放

PLC

|OPEND0|　　占有タイマを強制的に終了する

※データ出力中にコマンドを認識しても、バッファ内のデータをすべて出力するまでポートは開放しません。

●　出力のポーズ

|PAUSE|　　このコマンドを送った後に入力されるデータの出力を一時停止する

※ポーズ中はランプの点滅速度が遅くなり、占有タイマは一時停止します。ポーズ中に出力中のポートのセレクトボタンを押すと、ポーズが解除され、データが出力されます。

注 意

1）プリント出力の遅いアプリケーションから印字する場合など、ほかのパソコンからのデータが混在して印字されるのを防ぎます。
2）このコマンドを送ったときに出力中のデータがある場合、そのデータは一時停止しません。

●　ポーズの解除

|RELES|　　出力の一時停止を解除する

●　コピー部数の設定

|COPYnn|　　コピー部数を設定する（nn：01～99）
|COPY00|　　コピー部数をクリアする

4.1.3　階層コマンド

10階層までのPLⅡシリーズ、及びPSC/Pコマンドに対応している機器の制御ができます。

｜ {0} コマンド｜

↑

レベル（0～9）　　※0は自分、1は次のレベル、2は…

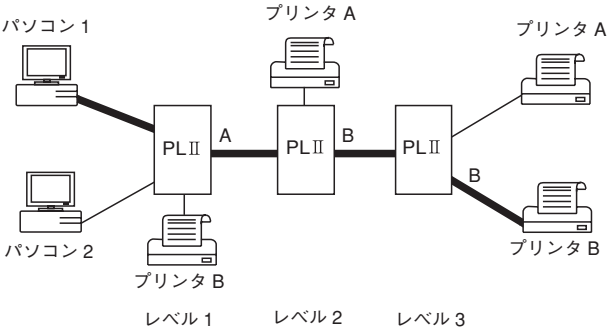
PLⅡは、このコマンドが入力されると、「｜」の後の文字を数字とみなし、その数字から1を引いてコマンド列を書き換え、その他はデータとして出力します。このとき、0のときはコマンド部のみを出力します。したがって、指定されたレベルの機器は、これをコマンドとみなして処理します。

実際に、目的の階層の相手へデータを送るには、データ送信の前にPLⅡ同士を接続し、階層付きの切替コマンドを入力する必要があります。

注 意

コマンドを使用せず、手動切替でデータを送る場合、データを送る前にPLⅡ同士を接続し、適切なポートを選択しておく必要があります。

接続例



上記の場合、レベル 1 のパソコンからレベル 3 のプリンタBにデータを出力するには、下記のように 3 回コマンドを送った後、データを送ります。

|PRNTRA||{1}PRNTRB||{2}PRNTRB|

4.1.4　コマンドの使いかた

コマンドの使いかた

パソコンなどを使って実際にコマンドを出力するには、以下の 5 つの方法があります。

① BASICなどの言語を使ってプログラムを作成する。

例）　100　LPRINT　“|PRNTRA|”;

　　110　LPRINT　“Data print to Printer A”

② コマンドの入ったテキストファイルを作成し、MS-DOSのCOPYコマンドなどで出力する。

例）　A> COPY CON SELB.PSC

　　|PRNTRB| ^Z　　([CTRL] + [Z])

　　A> COPY CON OPEN.PSC

　　|OPEND0| ^Z

　　A> COPY SELB.PSC PRN

　　アプリケーションなどを起動します。

　　A> COPY OPEN.PSC PRN

また、これらをバッチファイルで自動化すれば、簡単に切り替えられます。

③ 印刷するファイルにコマンドをうめ込む。

④ データベースや表計算ソフトで、コマンドをデータとしてうめ込み、データと一緒に印字する。

⑤ PSC/Pコントロールソフトウェア「PSTOOL97」を使う。

※詳しくは、付属の『PSTOOL97』のマニュアルをご覧ください。

注 意

ワープロソフトやWindowsの場合、文字コードを変換して出力するため、正常な文字コードとして認識できません。このような場合には、一度ソフトを終了し、②や⑤のような方法でコマンドを出力してください。また、パソコンの種類やプリンタドライバ、アプリケーションによっては、文字コードが異なる場合があり、正常に動作しないことがあります。

付録 1 困った時には

PLⅡシリーズが異常になる理由は様々です。
この章では、個々の共通のトラブルを解決するヒントを提供します。

電源が入らない（電源ランプが点灯しない）

・コンセントへは、正しく接続されていますか。

データが入力できない（セレクトランプが赤にならない）

・パソコンからのケーブルは、正しく接続されていますか。
・接続ケーブルは、パソコンの仕様に合っていますか。
・プリンタBコネクタの入出力の設定は合っていますか。
・バッファが一杯になっていませんか。
・コピー印字中ではありませんか。

プリンタが印字しない

・接続ケーブルは、正しく接続されていますか。
・プリンタBコネクタの入出力の設定は合っていますか。
・プリンタが、紙切れやオフラインになっていませんか。
・セレクトランプは、赤点滅になっていますか。
・分配モードのとき、プリンタA、B共印字可能ですか。

データがおかしい

・各コネクタはしっかり接続されていますか。
・ケーブルを延ばしすぎていませんか。
・占有タイマは短すぎませんか。
・プリンタのモード設定は合っていますか。

データがおかしい、印字しない

・キヤノン製 LIPSⅢ搭載のページプリンタをご使用の場合、印字したデータがおかしくなったり、印字しなくなる場合があります。その際は、関西電機㈱製のアダプタ（型番：KJC-361）が必要となる場合があります。

詳しくは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

プリンタが切り替わらない

・プリンタBが出力になっていますか。
・占有モードになっていませんか。

双方向通信対応のプリンタを使用して、正常に動作しないとき

・ディップスイッチSW1-9, 10をONにしてみてください。
・プリンタドライバなどの設定で、双方向通信の機能を解除してみてください。

クリアできない

・操作は正しいですか。

コピーできない

・操作は正しいですか。
・コピー設定は、データを送る前に行いましたか。
・バッファが一杯になっていませんか。

コマンドが動作しない

・コマンドが有効になっていますか。
・文字列は正しいですか。
・CR, LFの設定は合っていますか。
・文字コードは正しいですか。OSやソフトによっては、正しいコードが出力されません。
・バッファが一杯になっていませんか。
・プリンタBの入出力の設定は合っていますか。設定によっては、実行不可能なコマンドがあります。

付録 2　用語解説

PSC/P（ピーエスシーピー）［Peripheral Standard Control/Protocol］

パソコンからコマンドを送ることにより、プリンタを選択したり、バッファ内のデータをクリアする方式です。

デバイスコントロール機能

コントロールコードにより、パソコンがソフト的にプリンタのオンライン、オフラインを制御することです。※詳しくは、お使いのプリンタのマニュアルをご覧ください。

占有タイマ

データの混在を防ぐための占有時間を設定するタイマです。パソコンとプリンタが接続状態にあるとき、パソコンがデータを出力し終えても、ある一定時間そのプリンタを占有します。

バッファ機能

バッファとは、データを一時ためておくためのメモリ領域のことです。記憶領域に出力するデータをたくわえて、パソコンの出力待ち時間を短縮させる機能です。

ダイナミックアロケーション機能

各パソコンから入力されたデータ量に応じて、ダイナミックにバッファを分割し、バッファメモリを有効に使用する機能です。
例えば、2 台のパソコンがデータを送ってきた場合、バッファメモリが半分ずつ使用するのではなく、データ量に応じてバッファメモリが割り当てられます。

FDI（エフディーアイ）方式 ［First Data Input］

PLC

複数のパソコンが同じプリンタにデータを送った場合、本製品が各パソコンから送られてきたデータの順番を記憶し、不公平のないように、データが送られてきた順に切り替え、出力します。

FF（エフエフ）方式 ［First Finish］

PLC　PLV

2 つ以上の入力ポートが出力待機状態のとき、出力切り替え時に、先に入力が終了したポートのデータを先にプリンタへ出力します。したがって、短いデータは早く出力され、待ち時間が短くなります。

DMS（ディーエムエス）方式 ［Dual Mode Status］

セントロニクスの場合、プリンタの状態（紙切れなど）を複数の信号線でパソコンに伝えます。その状態を即時に伝える「リアルタイムモード」と、本製品がその状態を固定し、パソコン側に伝えない「固定モード」の 2 つの処理を行う方法です。

RPC（アールピーシー）機能 ［Remote Power Control］

パソコンからデータを送るだけで自動的にプリンタの電源をONにする、リモート電源制御機能です。
本製品のRPC端子に、関西電機㈱製のパワーコントローラを接続すれば、パソコンからのデータ入力があると、自動的にプリンタの電源をONにし、データを出力します。

RISC（リスク）［Reduced Instruction Set Computer］

パソコンの種類には、CISCとRISCの 2 タイプがあります。
RISCは、多くの複雑な命令を持ったCISCに比べ、命令数を減らし、構造を単純化することによって処理速度の向上を図ったものです。

IEEE1284（アイトリプルイー イチニハチヨン）規格

アメリカ電気電子技術者協会によって標準化された、パソコン周辺機器の双方向通信についての規格です。その規格には、ニブル（Nibble）モード、BYTEモード、ECPモード、EPPモードの 4 種類のモードがあります。

ニブルモード

IEEE1284規格の双方向通信モードのひとつです。
通常使用する信号線以外に、PEやSELなどのステータス信号線を使用して、プリンタなどと双方向通信を行う方式です。

付録 3 仕様

ここでは、PLⅡシリーズの仕様、及びコネクタ信号表について記述します。

付3.1 ハードウェア仕様

接続台数	PLCⅡ PLYⅡ PLXⅡ PLWⅡ	入力1台　出力1台 入力2台　出力1台または入力1台　出力2台 入力3台　出力1台または入力2台　出力2台 入力4台　出力1台または入力3台　出力2台
入力 ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ	PLCⅡ PLYⅡ PLXⅡ PLWⅡ	セントロニクス準拠入力×1（ｱﾝﾌｪﾉｰﾙ36ﾋﾟﾝﾒｽ） セントロニクス準拠入力×1（ｱﾝﾌｪﾉｰﾙ36ﾋﾟﾝﾒｽ） セントロニクス準拠入力×2（ｱﾝﾌｪﾉｰﾙ36ﾋﾟﾝﾒｽ） セントロニクス準拠入力×3（ｱﾝﾌｪﾉｰﾙ36ﾋﾟﾝﾒｽ）
入出力 ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ PLC	セントロニクス準拠入出力×1（ｱﾝﾌｪﾉｰﾙ36ﾋﾟﾝﾒｽ）	
出力 ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ	セントロニクス準拠出力×1（ｱﾝﾌｪﾉｰﾙ36ﾋﾟﾝﾒｽ）	
制御方法	CPUによる電子制御	
バッファ容量	1M／4M／8M／16Mバイト	
切替方式 PLC	パソコン切替：自動 パソコン切替：自動、分配、占有 切替方式：手動、コマンド	
クリア	手動及びコマンド	
コマンド	PSC/P方式（選択、モード設定、クリア、ポーズ、コピー） ※PLCⅡでは、一部機能しません。	
その他	デバイスコントロール機能、自動改ページ機能、DMS方式、コピー機能、FDI/FF方式など　※PLCⅡ、PLYⅡでは、一部機能しません。	
電　源	AC100V±10%　50／60Hz　13VA	
外形寸法	82(W)×150(H)×211(D) mm	
重　量 （1Mバイト）	PLCⅡ　：1500g PLYⅡ　：1560g PLXⅡ　：1580g PLWⅡ　：1650g	
環境条件	湿度：10～40℃　湿度：20～80%（結露なきこと）	

付3-2 コネクタ信号表

●入力側

ピン	信号名	方　向 本製品 ⇔ パソコン
1	$\overline{\text{STD}}$	←
2	DATA0	←
3	DATA1	←
4	DATA2	←
5	DATA3	←
6	DATA4	←
7	DATA5	←
8	DATA6	←
9	DATA7	←
1	$\overline{\text{ACK}}$	→
1	BUSY	→
1	PE	→
1	SEL	→
1	$\overline{\text{AF}}$	←
1	GND	—
1	FG	—
1	+5V	—
1 ～3	GND	—
3	$\overline{\text{INIT}}$	←
3	ERR	→
3	+5V	—
3	$\overline{\text{SELIN}}$	←

●出力側

ピン	信号名	方　向 本製品 ⇔ ﾌﾟﾘﾝﾀ
1	$\overline{\text{STD}}$	→
2	DATA0	→
3	DATA1	→
4	DATA2	→
5	DATA3	→
6	DATA4	→
7	DATA5	→
8	DATA6	→
9	DATA7	→
1	$\overline{\text{ACK}}$	←
1	BUSY	←
1	PE	←
1	SEL	←
1	$\overline{\text{AF}}$	→
1	GND	—
1	FG	—
1	+5V	—
1 ～3	GND	—
3	$\overline{\text{INIT}}$	→
3	ERR	←
3	$\overline{\text{SELIN}}$	→

サポートセンターへのお問い合わせ

弊社サポートセンターへのお問い合わせは、ユーザー登録された方に限ります。

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号。
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo.
   （フロッピィディスクに貼ったVerシールに印刷されています。）
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態（どのようなときにどうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容）。

■郵便

〒 920-8512　石川県金沢市桜田町24街区1
住所　株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「PLⅡシリーズ」係　宛

■FAX

FAX番号	本社　**076-260-3360**
	東京　**03-3254-9055**
宛先	株式会社アイ・オー・データ機器
	サポートセンター「PLⅡシリーズ」係　宛

■電話

電話番号	本社　**076-260-3366**
	東京　**03-3254-0301**
受付時間	9:30～12:00　13:00～17:00
	月～金曜日（祝祭日を除く）

■オンライン（パソコン通信）

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	http://www.iodata.co.jp/
IOS-NET	ｱｲ・ｵｰ・ﾃﾞｰﾀ機器ﾌｫｰﾗﾑのサポートセンター
NIFTY-Serve	ｱｲ・ｵｰ・ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)サポート会議室

IOS-NETのアクセスポイントや概要については、「サポートソフトのバージョンアップ」をご覧ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■IOS-NET

アクセスポイント
東京　**03-5295-6570**　　大阪　**06-368-2291**
金沢　**076-234-9811**　　VTX(*) **166-77100**

『アイ・オー・データ機器フォーラム』→『サポートソフトライブラリ』を選び、必要なソフトや差分ファイルをダウンロードしてください。

(*)VTXのお申し込みと、VTXに対応した通信ソフトが必要です。VTXに関するお問い合わせは最寄りのNTT(0120-443322)へどうぞ。

IOS-NET概要

最大通信速度	33600bps				
通信手順	N81XN (ﾊﾟﾘﾃｨﾋﾞｯﾄなし、8bit DATA、ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ1,X ON,ｼﾌﾄ制限なし)				
使用文字コード	シフト JIS		制限時間	30分	
CONNECT ID	IOS	USER ID	GUEST	パスワード	なし

■その他のパソコン通信

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　http://www.iodata.co.jp/　→「ｻﾎﾟｰﾄ・ﾗｲﾌﾞﾗﾘ」
NIFTY-Serve　ｱｲ・ｵｰ・ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA) の ﾗｲﾌﾞﾗﾘ(LIB 9)

■バージョンアップ窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。(送料及び手数料はお客様負担)

住所　〒920-8512　石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
「PLⅡシリーズ」バージョンアップ係　宛
電話番号　**076-263-7070**
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

- パソコン通信によるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
- 添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
- このサービスへのご質問は、弊社サポートセンターやバージョンアップ窓口ではお受けできません。

修理について

弊社製品の修理については、以下の事項をご確認のうえ、販売店もしくは弊社サポートセンターへご依頼ください。

●原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

●修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

●保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
◇保証書がない場合
◇保証書の所定事項が未記入の場合
◇電源ONで挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法による破損、故障の場合
◇落雷などの事故による破損の場合
◇本製品を改造した場合

●保証期間後は有償で修理いたします。
製品によっては主要部分がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

●修理品送付先

〒 920-8513　石川県金沢市桜田町15街区7 ｱｲ・ｵｰ・ﾃﾞｰﾀ第2ビル
住所　株式会社アイ・オー・データ機器
「PLⅡシリーズ」修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

MEMO

■ディップスイッチ機能一覧

SW1

□：出荷時設定

ｽｲｯﾁ番号	機　能	ON	OFF
1	占有タイマ	※下表参照	
2			
3	コマンドの使用	有効	無効
4	コマンドの区切り	ｺﾏﾝﾄﾞ+CR, LF	CR, LFなし
5	デバイスコントロール	有効	無効
6	出力$\overline{\text{ACK}}$監視	$\overline{\text{ACK}}$のみ	$\overline{\text{ACK}}$/BUSY
7	DMS	有効	無効
8	自動改ページ	有効	無効
9	プリンタAのバッファ	無効	有効
10	プリンタBのバッファ PLC	無効	有効

※占有タイマ（SW1-1, 2）

1	ON	OFF	ON	OFF
2	ON	ON	OFF	OFF
設定時間（秒）	60秒	30秒	15秒	5 秒

SW2 PLC

【 PLYⅡ】

□：出荷時設定

ｽｲｯﾁ番号	機　能	ON	OFF
1	出力先設定	プリンタB	プリンタA
2	未使用（常にOFF 状態で使用してください）		
3			
4	プリンタB入出力切り替え	出力	入力

【 PLXⅡ】

ｽｲｯﾁ番号	機　能		ON	OFF
1	未使用（常にOFF 状態で使用してください）			
2	出力先設定	パソコン 1	プリンタB	プリンタA
3		パソコン 2		
4	プリンタB入出力切り替え		出力	入力

【 PLWⅡ】

ｽｲｯﾁ番号	機　能		ON	OFF
1	出力先設定	パソコン 1	プリンタB	プリンタA
2		パソコン 2		
3		パソコン 3		
4	プリンタB入出力切り替え		出力	入力

■コマンド一覧

コマンド	機　能
|PRNTR0|	空いているポートを選択（自動モード） PLC
|PRNTRA|	プリンタAを選択 PLC
|PRNTRB|	プリンタBを選択 PLC
|PRNTR＊|	プリンタA、B 両方に出力（分配モード） PLC
|PRNTAA|	プリンタAを占有モードに設定 PLC
|PRNTAB|	プリンタBを占有モードに設定 PLC
|CLEAR0|	自ポートのバッファ内のメモリをクリア
|CLEARA|	プリンタAのバッファをクリアし、プリンタAをリセット PLC
|CLEARB|	プリンタBのバッファをクリアし、プリンタBをリセット PLC
|CLEARx|	パソコンxのバッファをクリア PLC
|CLEAR＊|	全ポートのバッファをクリアし、プリンタAとBをリセット PLC
|OPEND0|	占有タイマを終了（ポートを開放） PLC
|PAUSE|	出力を一時停止
|RELES|	出力の一時停止を解除
|COPYnn|	コピー部数を設定（nn: 01～ 99）
|COPY00|	コピー部数をクリア

MEMO

MEMO

双方向通信対応型超高速プリンタバッファ
PLⅡシリーズ取扱説明書
1998.Jun.03　15304-01
発　行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1

© 1998 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。